

千葉大学医学部附属病院で薬物治療を実施された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年9月29日

薬剤部

薬剤部では、安全かつ有効な薬物治療のために、副作用を含む病態変化を把握して重篤化を回避する取組みを行っております。以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2011年4月1日～2025年3月31日に当院で処方を受けた方の中で、検査値に関連して薬剤師から医師に対して処方内容の確認が行われた方、または処方内容の確認が必要であると思われる方。また、当院に予定外の入院をした方。

1. 研究課題名

「処方箋に表記した臨床検査値の有用性評価」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院（観察研究）倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究では、服用していた医薬品が副作用を含む病態にどの程度影響していたか、臨床検査値異常がある場合には、その異常を処方後に把握することは可能であったか、緊急入院された方では入院前に緊急入院を回避するための対策を行うことができたのかを調査します。その結果から、薬物治療状況と臨床検査値活用状況を評価し、保険薬局での臨床検査値の活用を推進することで、薬物治療の有効性および安全性の向上を目指します。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、身長、体重、処方薬、持参薬、診療科、生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果、診療録、入院日、DPC データ（予定・緊急医療入院、入院契機病名）

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：薬剤部 教授・薬剤部長 石井伊都子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院薬剤部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

薬剤部 薬剤師 横山威一郎

043(222)7171 内線 6505